

fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子

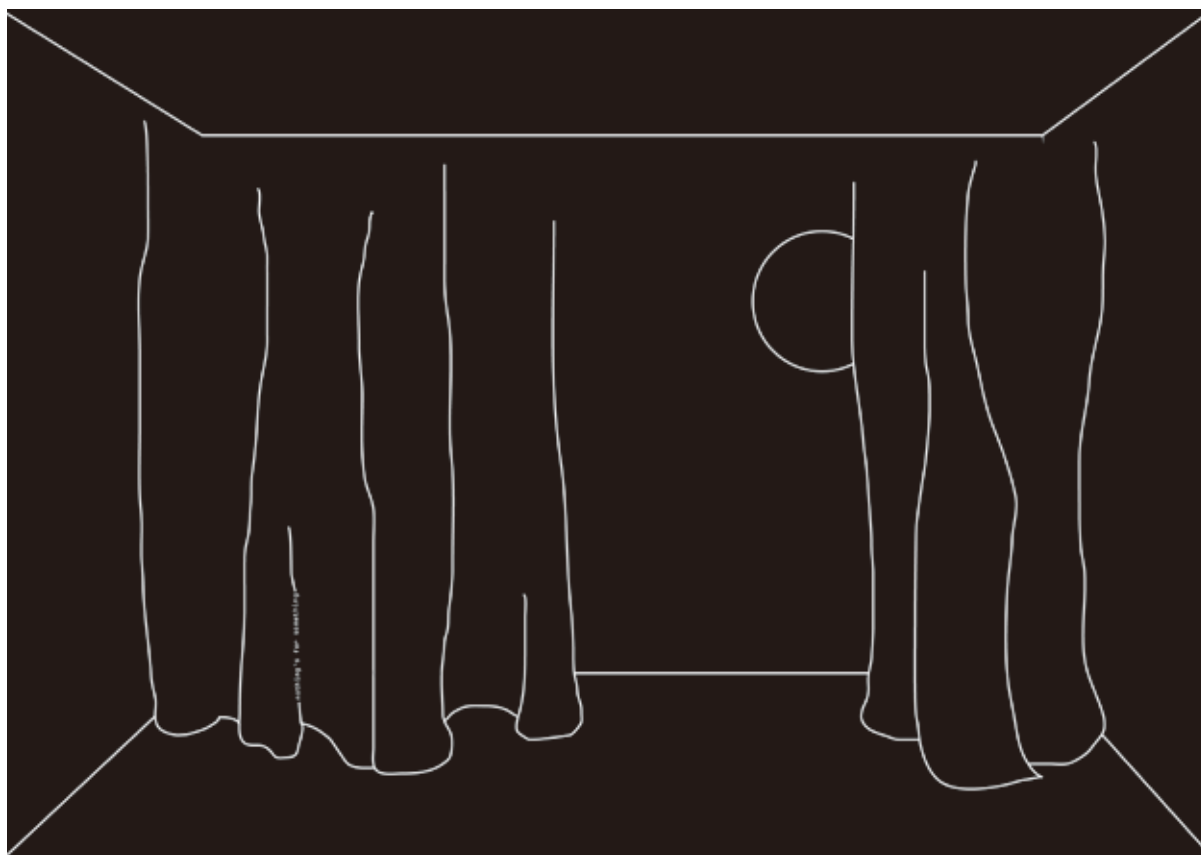
fieldworks / Heine Avdal & Yukiko Shinozaki

『nothing's for something』

2月9日[日] 17:30 KAAT神奈川芸術劇場 ホール

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020

ダンス公演のご紹介



Drawing by Dree Schult



Photo by David Sauri

エコ・スプリヤント

Eko Supriyanto

『IBUIBU BELU: Bodies of Borders』 『イブイブ・ベルー: 国境の身体』

2月12日[水] 19:00 KAAT神奈川芸術劇場 ホール

# fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子 nothing's for something [日本初演]

2月9日[日] 受付開始 17:00 / 開場 17:15 / 開演 17:30 / 上演時間 60分

横浜の稼働中のオフィス、住宅展示場、ショッピングモール、東京のスパイラル全館をスリリングな異化の起こるパフォーマンス空間に変容させたサイト・スペシフィック・コラボレーション「Field Works - office」(2011)、「横浜 借景」(2011~2012)、「[distant voices - carry on] ~青山借景」(2015)を経て、ベルギーを拠点とするfieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子がオリジナルのプロダクションを日本で初めて発表します。

「nothing's for something」は、劇場外のさまざまな場所でのサイト・スペシフィック・ワークを通して彼らが確立した、ダンサーの身体とパフォーマンスのあらゆる現動的／潜勢的要素への非階層的なアプローチを、空っぽの「非＝場所」としての劇場空間に適用した作品です。身体、物体、ドローイング、音と光の振付を通して、この作品は身体とそれを取り囲むものの中に存在する「アフェクト(変様／情動)」を探究します。そして動きの「オリジナリティ」という申し合わせを問い直し、見えないものを可視化することを目指しながら、空間と時間があるひとつの「状態」から別のあり方へと移行する動きを明らかにしてゆきます。

コンセプト・演出:Heine Avdal, 篠崎由紀子  
出演:Heine Avdal, Indrid Haakstad, 篠崎由紀子, Oleg Soulimenko  
初演創作・出演:Heine Avdal, 社本多加, 篠崎由紀子, Oleg Soulimenko  
照明・技術監督:Hans Meijer  
音響・エレクトロニクス:Fabrice Moinet  
ドローイング・グラフィクス:Brynjar Åbel Bandlien, Christelle Fillod  
ドラマトルギー:Marianne Van Kerkhoven  
創作アシスタント:宮沢さおり  
エレクトロニクス・アシスタント:Matthieu Viro, Johann Loiseau  
技術協力:Culture Crew  
技術コーディネーター:鎌谷亮也



Photo by Heine Avdal

## fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子

「パフォーマンス・メディア」を重視し、さまざまなメディアの混成物としての動きを解釈へと聞き、パフォーマンス、ダンス、ヴィジュアル・アーツ、ビデオ、音楽、テクノロジーなどの分野と専門性を活用し、身体と物体、フィクションとノンフィクション、触知可能性と不可視性、有機物と人工物の対立や対比を遊戯的に扱うアーティスト。作品は観客とパフォーマンスの関係、パフォーマンスのさまざまな要素に対する非階層的アプローチ、劇場の「非劇場」環境の探究を伴う。

製作:Heine Avdal (オスロ), fieldworks (ブリュッセル) / 共同製作:Kaattheater (ブリュッセル), APAP Network, BUDA (コルトレイク), BIT-Teatergarasjen (ベルゲン), STUK (ルーヴェン) / 製作協力:WP Zimmer (アムステルダム), Network (アールスト), Vooruit (アントワープ), MDT (ストックホルム), Black Box theater (オスロ), Teaterhuset Avantgarden (トロンハイム), INKONST (マルメ) / 監カ:Anne-Catherine Kunz, 佐川寿子, Sara Jansen, David Pledger - Dance Massive festival (メルボルン), Ursula Dawkins / 助成:Flanders, VGC, Norsk Kulturråd, Fond For Lyd og Bilde, Fond for Utevende Kunstnere / ツアー助成:Performing Arts Hub Norway / 特別協力:駐日ノルウェー大使館



fieldworksは他にも「unannounced」「unwritten conversation」をKAATにて上演します。詳しくはTPAM2020ウェブサイトをご覧ください。

# エコ・スプリヤント イブイブ・ペルー: 国境の身体 [世界初演]

2月12日[水] 受付開始 18:00 / 開場 18:15 / プレトーク(「イブイブ・ペルー: 国境の身体」チケット購入者のみ) 18:30 / 開演 19:00 / 上演時間 60分(予定)

国際的に評価された「Cry Jailolo」「Balabala」「SALT」に続き、インドネシアのダンサー／振付家エコ・スプリヤントは、さらに東方へと目を向け、東ヌサ・トゥンガラ州のペルーという地域の伝統舞踊をリサーチしました。

「イブイブ・ペルー」は、ティモール島の社会的基礎を構成する重要な要素である伝統舞踊「リクライ」に関する2年間のリサーチの到達点です。現在は政治的に押しつけられた国境により東ヌサ・トゥンガラ州と東ティモールに分断されている人々が本来持つ親近性をリクライは示しています。そのことをスプリヤントは動き、リズム、歌、テキストの伝統の探求を通して明らかにします。5人のダンサー(1人は東ティモール側の出身)と彼女らの個人史に凝縮されたその記憶がリクライを通して表現され、身体が、政治的境界に制約されながら、同時にそれを超えようとするものであるという逆説を提示します。

振付:Eko Supriyanto  
出演:Feliciana Soares, Evie Anika Novita Nalle, Angela Lavenia Leki, Adriyani Sindi Manisa Hale, Marlince Ratu Dabbo  
ドラマトルギー:Renee Sariwulan  
音楽監督:Dimawan Krisnowo Adji  
照明デザイン:Jan Maertens  
衣装:Vivi Ng, Erika Dian  
クリエイティブ・プレゼンス:Arco Renz  
プロジェクト・マネージャー:Isa Natadiningrat  
プロデューサー:Sadih Boonstra  
リハーサル・アシスタント:Riyo Tulus Pernando  
製作:EkosDance Company  
エグゼクティブ・プロデューサー:Ratnasari Langit Pitu



Photo by David Sijar

## エコ・スプリヤント

インドネシアのスラカルタを拠点とするエコスダンス・カンパニーとソロ・ダンススタジオの設立者／芸術監督。インドネシアで彼の世代を代表するダンサー／振付家。7歳よりジャワの宮廷舞踊とインドネシア武術を学び、商業的プロダクションからリサーチプロジェクトまで活動は幅広い。近年の代表作「Cry Jailolo」「Balabala」「SALT」はインドネシア、ヨーロッパ、アメリカ、アジア太平洋地域をツアーしている。2014年にガジャ・マダ大学でパフォーマンス・スタディーズの博士号を取得。

共同製作:東ヌサ・トゥンガラ州政府(アタンブア), AsiaTOPA(メルボルン), SPRING Festival(ユトレヒト), Theater im Pumpenhaus(ミュンスター), TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜, Komunitas Saliha(ジャカルタ), Ratnasari Langit Pitu(ジャカルタ)

料金:各公演 一般 ¥3,500

発売日:2020年1月11日[土]

※TPAMに参加登録する舞台芸術関係者はプロフェッショナル・レートでご予約可能です。  
※未就学児童不可

■チケット取り扱い

▶Peatix [peatix.com/group/16812](https://peatix.com/group/16812)

▶チケットかながわ 窓口:KAAT神奈川芸術劇場(10:00~18:00)

電話:0570-015-415(10:00~18:00)

<https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

●車椅子席のチケットをご希望の方はTPAM事務局までお問い合わせください。(平日 11:00~18:00)  
電話:03-5724-4660  
メール:tickets@tpam.or.jp  
ご予約締め切り:各公演前日18:00

## KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281  
TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691  
<https://www.kaat.jp>

- みなとみらい線:浜谷駅から東横線直通で35分! 横浜駅から6分! 日本大通り駅から徒歩約5分。元町・中華街駅から徒歩約8分。
- JR根岸線:関内駅または石川町駅から徒歩14分。
- 市営地下鉄:関内駅から徒歩14分。
- 市営バス:芸術劇場・NHK前すぐ。
- 横浜駅前東口バスターミナル 2番のりばは乗車(所要時間約25分)
- 桜木町駅前バスターミナル 2番のりばは乗車(所要時間約10分)
- ※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。ただし、148系統急行線を除く。
- 指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団



TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜は、アジアと世界で同時代の舞台芸術に取り組みプロフェッショナルが集まるプラットフォームです。公演プログラムのほとんどは一般のお客様も鑑賞可能。全プログラム情報、舞台芸術関係者の参加方法についてはウェブサイトをご覧ください。www.tpam.or.jp

主催:国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 実行委員会  
(国際交流基金アジアセンター、公益財団法人 神奈川芸術文化財団、公益財団法人 横浜芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)  
助成:一般財団法人地域創造、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、振保ジャパン日本興亜「SOMPOアート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)  
お問い合わせ:国際舞台芸術ミーティング in 横浜事務局(PARC - 国際舞台芸術交流センター) | 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-1-2-3F | Tel 03-5724-4660 | Fax 03-5724-4661

身体と物の境界を問うダンス、国と国との境界を問うダンス。舞台芸術の国際的プラットフォーム「TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜」で日本初演 / 世界初演!

